

# 調布「憲法ひろば」

WEBサイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第20号

4月25日  
2006年

発行＝憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15  
あくろす2階 市民活動支援センター内  
メールボックス6番  
FAX番号：0424-83-1566 大野気付

E-Mail : [chofu9jou@yahoo.co.jp](mailto:chofu9jou@yahoo.co.jp)

四月二二日一八時半から開いた第一四回「憲法ひろば」は、「無防備地域宣言」運動の意義と可能性について柴崎の三宅征子さん（右写真）から発題をいただき、二七人のみなさんが討論。深大寺北町の竹内常一さん（中写真）の司会で、難しい問題は今後の研究課題として残しつつ、多様な意見も出しました。

## 第14回 憲法ひろば



### 戦争に協力しない調布を！ その話し合いを憲法活かす力に

### 柴崎に在住の 三宅 征子さん 専門学校講師

日ごろ接している学生たちに聞くと「選挙に必ず行く人はたったの二%」。ここを変えていくために、若い人も一緒に何がやれるかをいつも考えてきたと言います。三宅さん。国際人道法に則って「戦争に協力しない地域」をつくりだす「無防備地域宣言」運動に着目したのだといいます。すでに全国四〇都市が「無防備地域宣言運動全国ネットワーク」(〇四年に創設、略称「無防備全

国ネット)を形成しています。「市民が国際法を活用し、憲法九条の理念と地方自治の本旨を実現するこの運動は、若い人も一緒にみんなで話し合う場になり、その話し合いの大きな広がり、憲法を守り、それを地域に生かす力になると思うんです」……瞳を輝かせて語る三宅さんの熱い思いに引き込まれた会場には、真剣で熱い空気が溢れました。

(下左写真真)



●●●●● 調布「憲法ひろば」 ●●●●●

## 5月例会のご案内

● 5月28日(日) 13時半～

自民党「新憲法草案」が描く日本の未来像とは

発題: 東つづじが丘・丸山重威さん

会場: 国領駅前「あくろす」3階ホール

### ●● その後のスケジュール ●●

6月例会 未定・拡大世話人会としての開催を検討中

7月例会 7月23日(日) 13時半～

会場は「あくろす」ホール

8月合宿 8月12日(土)～13日(日)

八王子の大学セミナーハウスを押さえました。

大型「記念講演」を準備・折衝中。お楽しみに!

記念講演だけの参加者も大歓迎です!

### ● 「九条の会」全国交流集会 ●

6月10日(土) 11時～16時半

会場: 日本青年館ホール

## 「無防備宣言」は有効か? そこから話し合いをひろげよう

「国民による不断の努力」を通してこそ自由と権利を保持できる

三宅さんの「無防備地域宣言」運動の意義と可能性についての発題は、多くの共感と疑問を触発。三宅さんが発議時間を縮めて討論を求めたこともあり、さまざまな論議が起きました。

成立した国民保護法が「保護協議会設置と保護計画の作成を自治体に義務付けているが、それと「無防備宣言」はどんな関係? 「無防備」とは、弾が飛んできたら死ねと言ふこと? そのような宣言は有効だろうか? 戦争が起こることが前提の「無防備宣言」でなく、戦争そのものを許さない立場が必要だ、等等。

これらを受けて、司会の竹内さんは、「イラクの自衛隊に何故砲撃が加えられないか、それは日本人が考えている以上に九条が認知されているからだ。私は国際的信義を信頼したい」と述べ、「ここで出された疑問や意見を避けては憲法を語れない、ひきつづき研究しよう」と提起。三宅さんは、「憲法十二条「国民の不断の努力」の必要を強調し、今後もおおいに話し合いたいとお訴えました。